

平成 29 年度定時会員総会・春季学術講習会が開催されました！



4月23日（日）、郡山市中央公民館にて平成29年度定時会員総会が開催されました。50名以上（委任状含む）の出席があり、滞りなく議案が承認されました。定時総会の前には福島県鍼灸師連盟の総会も開催され、皆さまの承認を得て設立されましたことをご報告いたします。また、2年に1度の役員改選が行われ、福島県鍼灸師会は新体制となりました。詳しくは別紙、「役員選任の結果について」をご覧ください。

午後からは春季学術講習会が開催されました。学術副部長の益子勝良先生が『スポーツ外傷（肩関節編）』をご講演されました。肩に特化した内容で、解剖学はもとより、筋骨格の動きの生理学、各種徒手検査まで詳しく解説していただきました。座学では伝えきれなかった部分は後日、郡山シティーマラソン大会の中で実技を披露していただきました（裏面をご覧ください）。



益子先生のご講演の次は学術部と保険部からお知らせがありました。左の写真は新会長の三瓶真一先生。今後、福島県鍼灸師会で開催される学術講習会について『経営が安定するような内容も増やしていきたい。それが会員の資質向上となり、県民の健康増進などの寄与につながる。』と述べられました。保険副部長の橋本修一先生からは後期高齢者医療広域連合から保険取扱に関する文書が発行されたのでその報告がされました。



第24回 郡山シティーマラソン大会に参加してきました！

4月29(土)、郡山市・開成山陸上競技場にて「第24回 郡山シティーマラソン大会」が開催されました。福島県鍼灸師会としては第2回大会から参加をし、通算で23回目の参加となります。今ではこの活動が認められ、郡山市から正式に「依頼」されるようになりました。

今年は鍼灸師19名、学校教員1名、専門学校生3名、計23名で参加。ベッドは12台。おそらくここ数年では一番の参加者数だったと思います。大会も過去最高の参加者数8,676名(福島民報より)を記録し、また今年からハーフ部門が新設されたことで、昨年よりも900名増えたそうです。ボランティア治療ブースも開始すぐからランナーが利用されていきました。今年はレース前の利用者が多かったように感じます。



レースが始まるとアイドルタイムが発生します。この中で、春季学術講習会でご講演いただいた益子勝良先生のテクニカル・インストラクション(技術指示)が行われました。実際に肩の具合が悪い会員の先生がモデルとなり、徒手検査から刺鍼まで見せていただきました。益子先生が普段の治療で行っている技を惜しげもなく披露していただき、肩関節を特殊な肢位にしてからの刺鍼はベテラン先生からも質問が出るほどでした。



取材に来られた福島民報社の対応をされる遠藤賢一先生(右・スポーツ鍼灸委員長)。これまで「郡山シティーマラソン大会の顔」として携わっていただきましたが、後進育成のため今大会をもって勇退されます。なお、今後は益子勝良先生が郡山シティーマラソン大会のボランティア活動を引き継いでくださいます。今あるボランティア治療の礎を作ってくくださった遠藤先生、本当にお疲れ様でした(とはいえ、遠藤先生のサポートはこれからも続きます！これからもよろしくお願い致します！)。



★ 福島県鍼灸師会からは今泉洋平先生、田中宏明先生、米倉良平先生の3名が出場されました ★